

1. 空港臨海部グランドビジョンとは

1.1 空港臨海部グランドビジョン 2040 策定の背景

大田区では、平成 22 年 3 月に「空港臨海部グランドビジョン 2030」(以下、「ビジョン 2030」という)を策定し、空港臨海部の発展に向けて、様々な事業に取り組んできました。

そして、ビジョン 2030 策定から 10 年余りが経過し、この間には、羽田空港の再拡張・24 時間化、国際線の増便、HANEDA GLOBAL WINGS¹の開発、中央防波堤埋立地帰属問題の解決(令和島の誕生)、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催など、空港臨海部を取り巻く状況が大きく変容しています。

また、令和 2 年(2020 年)2 月頃より日本国内でも新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が猛威を振るい、3密(密閉・密集・密接)の回避、テレワーク、時差出勤などの新しい生活様式に向けた模索が続いています。

こうした背景から、大田区ではビジョン 2030 を改定し、新たな空港臨海部のまちづくりの指針となる「空港臨海部グランドビジョン 2040」(以下、「ビジョン 2040」という)を策定しました。

1.2 ビジョン 2040 の位置付け

ビジョン 2040 は、「大田区都市計画マスタープラン」や「おおた都市づくりビジョン」に基づき、大田区空港臨海部が 2040 年に向けて目指すべき地域の姿を示すものです。

ビジョン 2040 の策定にあたっては、前述の大田区の上位計画に加えて、東京都の計画や大田区に関連する個別の計画、大田区の産業動向を踏まえて計画しています。

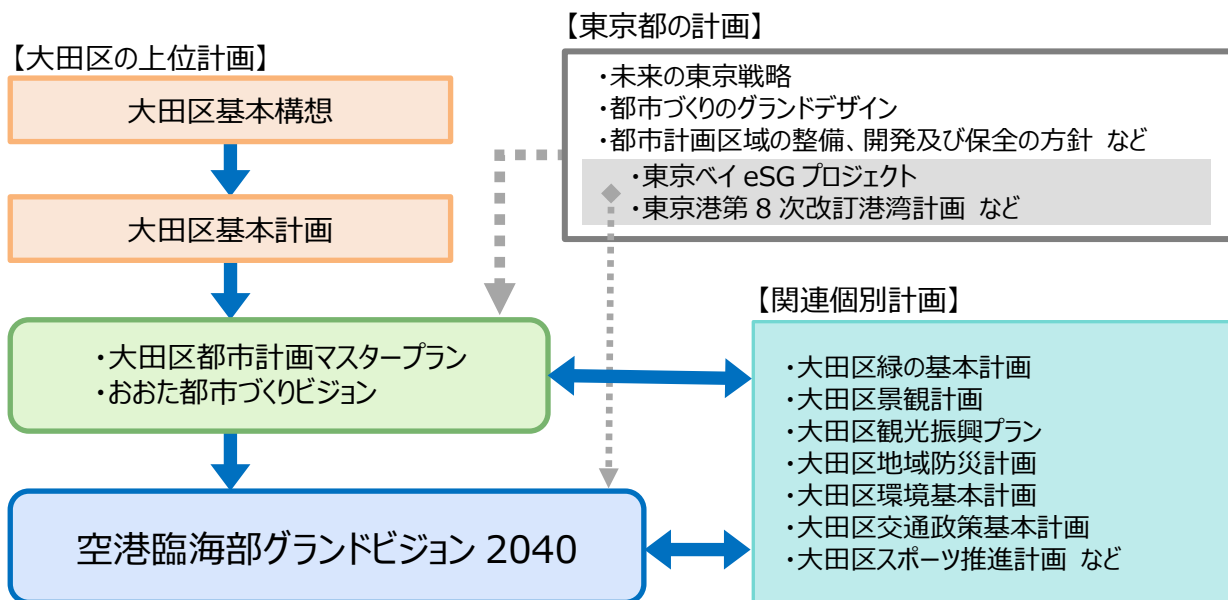


図 1-1 空港臨海部グランドビジョン 2040 の位置付け

¹ 羽田空港跡地のこと。第1ゾーンには「羽田イノベーションシティ」、第2ゾーンには「羽田エアポートガーデン」及び「ソラムナード羽田緑地」が整備されている。

1.3 空港臨海部とは

東京都心から川崎・横浜に至る地域の中に位置する空港臨海部は、日本の製造業の基盤を支える工業集積地であるとともに、広域的な交通や物流の要衝であり、首都圏の発展の一翼を担っています。

また、都心部としては貴重な公園・緑地などの緑資源、海・河川などの水資源があり、憩いの場・賑わいの場としても更なる充実が期待されています。

羽田空港の機能強化による国際化の進展、令和島周辺には新たな開発可能性のある土地が存在するなど、空港臨海部は更なる発展が期待される地域となっています。

ビジョン 2040 では、埋立島部(平和島、東海、昭和島、京浜島、城南島)とその内陸部の一部、羽田空港、中央防波堤埋立地の一部(令和島)を対象範囲とします。



図 1-2 ビジョン 2040 の対象範囲(空港臨海部)

1.4 空港臨海部の歴史

空港臨海部の埋立島部においては、令和に入り中央防波堤埋立地の一部が大田区に編入され令和島が誕生しました。

また、羽田空港においては、羽田空港沖合展開事業と再拡張事業で発生した跡地を「HANEDA GLOBAL WINGS」と称し、「未来に向けて羽ばたくまちづくり」を推進するエリアとするなど、空港臨海部のまちづくりが新たな変化を迎えようとしています。

表 1-1 空港臨海部の変遷

	大正～昭和初期	戦後(昭和20年以降)～昭和60年代	平成元年～	令和元年～	
内陸部	<ul style="list-style-type: none"> 農漁村耕地整理〔用水路、堀〕 関東大震災以後 田園から市街地へ工場、住宅の立地 	<ul style="list-style-type: none"> 大田区誕生(S22) 工場街としての活気 区人口75.7万人でピーク(S41) 公害問題の激化 工場の埋立島部への移転 大規模工場の区外移転 住宅地化の進展 	<ul style="list-style-type: none"> 全国初の工場アパート〔大森南2丁目〕(S60) 	<ul style="list-style-type: none"> 大田区産業プラザ(H8) 大田区区役所新庁舎(H10) 大森海苔のふるさと館(H20) 	<ul style="list-style-type: none"> 羽田旭町産業施設(R1)
埋立島部	<ul style="list-style-type: none"> 海水浴場 のり養殖場 	<ul style="list-style-type: none"> 平和島一部竣工(S42) 昭和島竣工(S42) 東海一部竣工(S47) 京浜島一部竣工(S49) 城南島一部竣工(S53) 	<ul style="list-style-type: none"> 工場の廃業、転業、移転の拡大 物流等の立地 	<ul style="list-style-type: none"> 東海に大田市場(H元年) 平和島にBIG FUN(H14) 	<ul style="list-style-type: none"> 令和島の誕生〔中央防波堤埋立地の一部〕(R2年6月)
羽田空港	<ul style="list-style-type: none"> 六郷川河口の砂浜〔三本競飛行場〕 日本飛行学校創立(T6) 東京飛行場(S6)〔面積53ha、300m滑走路1本〕 拡張工事開始(S13) 	<ul style="list-style-type: none"> 接収〔ハネダエアベース〕 約3千人が強制退去 全面返還(S33) 3本の滑走路完成(S39) 成田へ国際線が移転(S53) 羽田空港拡張〔沖合展開〕が閣議決定(S56) 	<ul style="list-style-type: none"> 新A滑走路完成(S63) 	<ul style="list-style-type: none"> 新C滑走路完成(H9) 新B滑走路完成(H12) 新D滑走路完成(H22) 羽田空港の国際化(H22年10月) 	<ul style="list-style-type: none"> 羽田イノベーションシティ開業(R2年7月)



大森海岸海水浴場 (昭和初期)



東京飛行場周辺 (昭和10年頃)



昭和島・京浜島 (昭和48年)



羽田新A滑走路完成 (昭和63年)



中央防波堤埋立地全景 (令和2年)

1.5 目標年次

ビジョン2040は、平成22年に策定したビジョン2030に示されたプロジェクトの進捗や成果を踏まえ、社会情勢が大きく変わると想定される概ね20年後である2040年(令和22年)を目標年次として定めます。

1.6 計画策定の体制

ビジョン 2040 の策定にあたり、学識経験者及び区職員で構成される専門部会により検討を進めてきました。

表 1-2 「空港臨海部グランドビジョン専門部会」委員名簿(敬称略)

	委員氏名	選出区分	所属
1	小林 清	学識経験者	明治大学 公共政策大学院 教授
2	中西 正彦	学識経験者	横浜市立大学大学院 都市社会文化研究科 教授
3	福田 大輔	学識経験者	東京大学大学院 工学系研究科 教授
4	山本 聡	学識経験者	東洋大学 経営学部経営学科 教授
5	飯嶋 清市(~R2.3.31) 山田 良司(R2.4.1~)	区職員	産業経済部長
6	齋藤 浩一(~R3.6.30) 西山 正人(R3.7.1~)	区職員	まちづくり推進部長

表 1-3 「空港臨海部グランドビジョン専門部会」開催実績

部会名	日時	議題
第 1 回	令和元年(2019 年) 8 月 2 日(金)	<ul style="list-style-type: none"> • 空港臨海部グランドビジョン 2030 の改定方針について • 空港臨海部の将来像について
—	10 月 24 日(木) 10 月 29 日(火)	<ul style="list-style-type: none"> • 空港臨海部の現地視察
第 2 回	11 月 5 日(火)	<ul style="list-style-type: none"> • 空港臨海部の将来像及び基本方針について
第 3 回	令和2年(2020 年) 1 月 31 日(金)	<ul style="list-style-type: none"> • 空港臨海部の将来像及び基本方針について
第 4 回	11 月 6 日(金)	<ul style="list-style-type: none"> • 新型コロナウイルス感染症による空港臨海部への影響について • 空港臨海部の将来像及び基本方針の改定について
第 5 回	令和3年(2021 年) 2 月 5 日(金)	<ul style="list-style-type: none"> • 空港臨海部の将来像及び基本方針の改定について • プロジェクト等について
第 6 回	6 月 29 日(火)	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクト及びロードマップについて
第 7 回	8 月 27 日(金)	<ul style="list-style-type: none"> • (仮称)空港臨海部グランドビジョン 2040(素案)について
第 8 回	令和4年(2022 年) 1 月 25 日(火)	<ul style="list-style-type: none"> • 空港臨海部グランドビジョン 2040(案)について